事例No.	169
公表年度	H28
団体の属性	都道府県
団体名	千葉県

事例区分	第三セクター

タグ	・会社法法人 ・観光

事例種類	公共性、公益性が高い事業の効率的な実施

事例内容・タイトル

音楽・娯楽・コンテンツ産業系イベントへの誘致拡大による幕張新都心の活性化

出典

第三セクター改革等先進事例集

事例名	音楽・娯楽・コンテンツ産業系イベントへの誘致拡大による幕張新都心の活性化
団体名	千葉県
法人名	(株)幕張メッセ

＜地方公共団体のデータ＞※

人口(人)	6,265,899
標準財政規模(百万円)	1,055,846
財政力指数	0.77694

※ 人口は、住民基本台帳に基づく人口(平成 28 年 1 月 1 日時点)
標準財政規模及び財政力指数は、平成 27 年度決算の数値

＜法人データ＞

[出資等の状況](平成 28 年 3 月 31 日時点)

千葉県	1,000(25.0%)
千葉市	500(12.5%)
その他	2,500(62.5%)
役職員数(人)	56

[経営状況](平成 27 年度決算)

(単位:百万円)

経常収益	4,195
経常損益	317
当期純損益	201

資産	8,074
負債	1,248
純資産	6,827

[法人概要](設立目的、業務概要等)

(1)設立目的

技術、情報、文化等の国際交流を促進する国際見本市その他の催しの場を提供することにより、本県の産業の振興及び文化の発展を図るとともに、本県の国際化に資する。

(2)業務概要

①内外商品等の見本市、展示会の企画、誘致及び開催

②国際・国内会議及び文化、スポーツ等各種催物の企画、誘致及び開催

③展示場、イベントホール、会議場及びこれらに附帯する施設の賃貸及び管理運営





1. 本事例の概要(取組の内容、ポイント)

当該事例は、法人の経営努力により、施設の利用促進が図られた事例である。

具体的には、千葉県における産業振興・文化の発展・国際化の推進・地域経済の活性化等における中心的役割を担うための施設として建設された幕張メッセについて、既存の産業系展示会に加えて、マーケットが拡大しているコンテンツ・音楽系のイベントへの重点的な営業展開を図った結果、施設の利用が促進され、第三セクターとしての経営の向上につながったものである。

２．取組みの背景、理由、着手のきっかけ

平成 20 年 9 月のリーマンショックに端を発した金融危機及び世界同時不況による景気後退の影響や平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災の影響により、平成 21 年度及び平成 22 年度の施設利用実績が目標を下回ることとなったため、施設稼働の向上を図るとともに 催物請負業務の積極的な受注、付帯収入の向上に努めることとした。

３．取組の具体的内容

(1)取組方針とその決定過程

①取組方針

・施設の利用促進に向けた積極的な取組
・利用者・来場者サービスの向上
・経営基盤の強化
・社会貢献

②決定過程

法人として①の４点を基本目標として掲げる中期事業計画を策定し、自主的な経営改善に取り組んでいる。

(2)取組の具体的な進め方

・施設の利用促進に向けた積極的な取組

継続利用顧客の確保

（継続開催している展示会・見本市の主催者との信頼関係を構築し、継続的な利用を確保）

新規催物の誘致

（各種展示会・見本市主催者へ幕張メッセのセールスポイントをアピール、役員によるトップセールスの実施）

重点的な営業活動の展開

（①音楽・娯楽・コンテンツ産業等の分野へのアプローチ強化、②複合コンベンション施設としての有利性を活かした企業イベントの誘致強化、③MICE事業に関連する催物の誘致、④自主企画事業・企画提案の強化、⑤国際化への取り組み、⑥主催者・出展者へのサービスの拡充）

請負業務の拡大

（旅行代理店と連携し、ミーティング・インセンティブや国内学会などを受注）

広報活動の強化

・利用者・来場者サービスの向上

利便性の向上を目指した施設整備

（国際会議場中会議室の増設、幕張イベントホール内トイレの改修　等）

交通アクセスの改善

（中央ロータリーを大幅改修し、ロータリーに乗り入れるバス路線の拡大と増便を図った）

サービス施設の拡充

（コンビニエンスストア２店舗の設置　等）



中央バスロータリー（改修後）

3．取組の具体的内容（つづき）

・経営基盤の強化

健全な収支構造の維持

・社会貢献

地元経済への協力

（①県内事業者への業務発注、県産品の活用②周辺商業施設における催物関連イベントの開催、③近隣ホテル・商業施設と連携した宿泊パックの販売、周遊バスの運行　等）

地域社会との共生への取組

（①「千葉県青少年野球連盟」等への協賛を通じ青少年の健全育成を支援、②「セント・パトリックス・デー」等への協賛を通じ地域文化活動を支援、③地元小学生を対象とした見学会、地元中学生を対象とした職場体験等の各種教室の実施　等）

4．取組の効果

既存の産業系展示会に加えて、競合施設の改修等に伴うコンサート会場の需要が高まる中、マーケットが拡大している音楽・娯楽・コンテンツ産業系イベントへの重点的な営業展開を図った結果、施設の利用が促進されるとともに、備品の貸出しやケータリング等の付帯収入の増加が図られた。また、幕張新都心の活性化にも寄与することができた。

＜取組による経営状況の推移＞

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
売上高	3,668,664 千円	3,856,357 千円	3,874,815 千円	3,803,966 千円	4,188,450 千円
経常損益	299,639 千円	366,279 千円	285,629 千円	283,496 千円	317,013 千円
施設利用者数	5,317,110 人	5,475,221 人	5,749,284 人	5,448,063 人	5,910,321 人



コンサート会場として利用される幕張メッセ（COUNTDOWN JAPAN）

5．今後の課題（今後の方針、残された課題等）

・将来を見据えた大規模修繕工事を推進し、設備・サービス施設の機能強化を図ることで、顧客満足度を向上させ、競争力の強化に努める。
・「2020 年 東京オリンピック・パラリンピック競技大会」は、幕張メッセと幕張新都心を全世界にアピールする絶好の機会であることから、組織委員会・千葉県・千葉市など関係機関と連携し、同大会の成功に向けて尽力していく。
・「2020 年 東京オリンピック・パラリンピック」終了以降は、施設間競争が一層激しさを増すことが想定されるため、これまで以上に積極的かつ効果的な誘致活動を行い、継続的な施設の利用促進を図っていく。
・より会社の主体性が発揮できる利用料金制への移行に備え、十分な検討を重ね、その対応に努める。
・（公財）ちば国際コンベンションビューローや大手旅行代理店との連携を強化し、国際会議や政府間会議、海外の大型コンベンション、企業インセンティブ等の MICE 事業、国際展示会の誘致に努め、さらなる施設の利用の向上を図る。

6．他団体の参考となり得る点（苦労した点、工夫した点、上手く進んだ理由、反省すべき点等）

既存の産業系展示会の継続誘致に加え、音楽・娯楽・コンテンツ産業系など利用分野の拡大に努め、施設の利用促進に積極的に取り組んだ結果、法人経営の向上が図られるとともに、幕張新都心の活性化に寄与することができた。

＜参考＞地方公共団体の問合わせ先

担当課	千葉県経済政策課	連絡先	043-223-2714